

田瀬ダム水源地域ビジョン推進協議会広報誌.....平成 25 年 3 月号

猿ヶ石川通信

Vol.2

第 1 面 トピックス	猿ヶ石川流域セミナー 2013 開催
第 2 面 ニュースファイル	田瀬湖ワカサギ釣り、味噌づくり体験、めがね橋フェス、他
第 3 面 インタビュー	田瀬ダム水源地域ビジョン推進協議会副会長：似田貝順一さん、他
第 4 面 インフォメーション	田瀬湖一斉清掃&ごみ川柳大会、野鳥観察会、薪づくり倶楽部、他

猿ヶ石川流域トピックス



セミナーで魚の生態を説明する鈴木正貴先生。

猿ヶ石川流域セミナー2013

魚から見た川と田んぼのつながり

岩手県立大学の鈴木正貴先生を講師に迎え 水田地帯に生息する魚類の保全方法を学ぶ

里山水棲生物保存会が
調査結果を報告

田瀬ダム水源地域ビジョン推進協議会総会が、2月21日(木)に花巻市東和町の総合福祉センター会議室で行われ、総会終了後には、「猿ヶ石川流域セミナー2013」が開催されました。

このセミナーは、猿ヶ石川流域の自然環境に理解

を深めることを目的に昨年引き続き開催されました。セミナーでは先ず最初に、流域団体の活動発表として、イーハトーブ里山水棲生物保存会が発表。同会が岩手県南振興局花巻保健福祉環境センターより受託した「猿ヶ石川流域の魚類等生息調査」や猿ヶ石川流域のオオハンゴンソウの生息地調査の結果について報告しました。

その後、岩手県立大学総合政策学部助教の鈴木正貴氏が「魚から見た川と田んぼのつながり」と題して講演しました。

魚が移動しやすい 工法の実例を紹介

講師を務めた鈴木正貴先生は、水田地帯に生息する魚類の保全技術である

「水田魚道」の開発で博士号を取得した方で、その後福井県土地改良事業団体連合会に在職した経歴をお持ちです。

講演では、淡水魚の生態全体について説明し、その中で水田の周辺にかつて当たり前に生息したドジョウなどが環境省のレッドリストに掲載されるなど、減少傾向にあることを紹介。その要因として、魚の移動を阻害している農業用水路や河川について指摘。鈴木先生が取り組んでいる魚が移動しやすいように落差を解消する工法実例を、写真や効果についてのデータを交えて紹介しました。

また、講演の終盤では、鈴木先生が岩手県で始めた研究として、盛岡市玉山区における、水田群の下流

に位置する溜め池が魚類の生息に果たす役割や中津川の魚道機能評価についての報告も行われました。

魚道を設置するには
見識と熟考が必要

講演後には、会場から質問がありました。その中には、ダム上流部の遠野ではサケの遡上を願う声もあるが、その点についての鈴木先生の見解を問うものでした。これについて、鈴木先生は、既に遡上できる可能性のある達首部川や宮守川にまず手をかけた方がいいのではないかと答えました。

更に、魚の移動の阻害要因となっているダムや落差工などは、外来生物の侵入を防ぐなど、その上流部に生息する魚類の遺伝子を保存する意味合いもあること。そういう意味でも、魚道を設置する場合は、広い見識と熟考が必要なので、地域住民自らが話し合いの上で決めることが大事と話されました。

猿ヶ石川流域ニュースファイル



田瀬湖では 10 cm を超える大きなワカサギが釣れる。



田瀬湖にはワカサギ釣りのテントが並んだ。

**田瀬湖ワカサギ釣り
約1800名が訪れる**

長年、多くの釣りファンが待ちわびていた「田瀬湖氷上ワカサギ釣り」が、今年2月16日に10年ぶりに解禁されました。

田瀬湖での氷上ワカサギ釣りは、近年の暖冬の影響もあり、最後に解禁されたのは2003年のこと。それ以前の1989年までは田瀬湖の冬の風物詩として毎年行われ、近隣から多くの釣り客に愛され続けてきました。かつては、1月下旬から



ワカサギ釣りを楽しむ釣り愛好者達。

約2カ月間行われた年もありましたが、今年は3月3日まで約2週間。氷上ワカサギ釣りを解禁するためには、監視員の配置や、保険料等に経費がかかり、短期間では採算がとれないことから、これまで解禁が見送られてきました。しかし、多くの釣りファンの要望を猿ヶ石川漁協(藤田晃組合長)が受け入れることで、今回の解禁となりました。

釣りを楽しみました。田瀬湖のワカサギは大きめなことが特徴で、お腹に卵を抱えた10cm以上にものなる魚を釣り上げている愛好者もありました。猿ヶ石川漁協としては、氷の張り具合にもよるが、来年以降も開催できるようにしたいと考えているそうです。まだ体験したことが無い方も、来シーズンには挑戦してみたいかがでしょうか。

味噌づくり体験会

2月23日(土)、花巻市東和町丹内地区にある国の重要有形文化財に指定されている曲り家の旧小原家にて、「味噌づくり体験会」が開催されました。

この体験会は、東和町グリーンツーリズム運営協議会が主催する恒例行事で、この日は、遠くは千葉県や東京都からを含む15名が味噌づくりに参加。昔懐かしい曲り家の囲炉裏から出る煙が漂う中、スタッフの丁寧な指導を受けながら、和気あいあいとした雰囲気の中で味噌づくりを楽しんでいました。



豆をつぶし、味噌づくりに取り組む参加者。

また、味噌づくりが終わった後は、東和町ならではの郷土料理を食べながらの交流会と、「よぐまんづ東和町」の劇団ミニ公演も行われました。曲り家内では、地域の農家が作った農産物や漬けものなどの加工品も販売されていました。

春よ恋 早く恋恋 めがね橋フェス開催

2月16日(土)、遠野市宮守町道の駅みやもり内にあるmm1センターコートにて、「春よ恋 早く恋恋 めがね橋フェス」が開催されました。

このイベントは、恋人の聖地に認定された遠野市宮守町の「めがね橋緑地広場」にて、バレンタインデー前後のイルミネー



コスミスによるミニコンサートの様子。

ションのライトアップと共に春を迎えるイベントとして、めがね橋春物語り実行委員会が2年前より継続して開催しています。この日は、宮守町の昔話の語り部である阿部信子さんが、宮守町に伝わる昔話を披露。その軽妙な語り口に、来場客は笑ったりしみみりと聞き入るなど、昔話の世界に引き込まれていました。そして昔話の後には、阿部さんとお客さんが一緒になって童謡の「春よ来い」を歌いました。昔話の後は、遠野地域でも取材されたNHKテレビアニメ「リトルチャロ東北編」の上映と、この番組の挿入曲を尺八で演奏している大槌町の久大保正人さんらの音楽ユニット「コスミス」によるミニコンサートが行われました。

猿ヶ石川流域インタビュー

田瀬ダム水源地域ビジョン 推進協議会副会長

似田 順一(にたがい じゅんいち)さん

昭和 22 年、遠野市土淵町似田貝地区の農家で生まれ育つ。遠野高校を卒業後盛岡市内のスポーツ店に 10 年間。その後、遠野市内の酒造会社に 23 年間勤務。退職後の現在は、8 反の水田を耕作しながら、土淵町を流れる「蓮池川を考える会」を平成 14 年に発足し、会長を務める。平成 22 年より、遠野市の環境団体である「環境フロンティア遠野」の 2 代目の会長に就く他、遠野市農業委員会委員も務めている。65 歳。



子ども達に釣りや ドジョウ捕りを体験

蓮池川はせきというのは、観光で有名になった「カッパ淵」を流れる川なんです。この川を整備しようという事で、当時は 5、6 人の有志で、「蓮池川を考える会」を発足したんです。会員は 14 人ほどです。

当時、北里大学の岩田先生が、学生を連れて、この地区のザッコやドジョウの調査に何年間も来ていたんです。その調査報告の機会として、地区住民を招いて「車座討論会」を地区センターで開催しました。その岩田先生にアドバイスをいただきながら、蓮池川の整備をしてきました。



似田貝さん達が整備している蓮池川。

た。川だけじゃなく、憩いの広場となるように、橋をかけた。昔の苗代を利用して池を作ったりしました。

その池で、地区の児童館の子ども達にコイやフナ釣り、ドジョウ捕りの体験をさせましたが、子ども達は喜んで、面白がってやりますよ。ふだん自然と触れ合う機会がなかなかないせいだと思います。

私が子供の頃は、川で泳いで、ザッコを捕まえたりしました。学校にプールが無い時代ですからね。クキ(ウグイ)をおさえたり、カジカもいましたね。蓮池川ではなく、猿ヶ石川の方まで行って泳いだ。けっこう川では遊んだなあ。タナゴもいましたね。冬になればウサギ捕りをしたりね。

環境を守るには 手をかけること

この地域では、4、5年くらい前から、ホタルが飛び交うようになりましたね。他でもやっていますが、ここでもホタル鑑賞会ができるんじゃないかと思

います。以前もホタルはいたんですが、水がきれいになって増えてきた。ドジョウを増やしている会員もいるんですが、ドジョウが棲める環境づくりが大事。やはり環境を守るには手をかけることですね。

そして、地域の人達に、関心を持ってもらうことが必要なんです。そうすれば、たれ流しもなくなるのではないかと。減農薬の農

業は、量は穫れないけど、味は良いんじゃないかと思ひます。

現在、蓮池川を考える会は休止状態となっておりますが、ホタルの鑑賞会や児童館の子ども達に釣りっこをさせたいと思います。

猿ヶ石川流域全体としては、川の流れが昔とは違ってきているので、護岸工事は環境も考慮してやっていただきたいと思います。

自然ウォッチング 猿ヶ石川の野鳥 File No.2



コガモ(右が♂ 左が♀ 全長約 36 cm)

名前の通りひと回り小さいカモで、オスのお尻の黄色の三角形が特徴的な美しいカモ。雄はピリッ ピリッやピッピッと鳴く。冬鳥として渡来し、猿ヶ石川沿いでは多くはないが、毎年必ず見られます。(写真提供:とうわ野鳥の会)

猿ヶ石川流域インフォメーション

4/27

みんなで集い田瀬湖をクリーンアップ！ 田瀬湖一斉清掃&ごみ川柳大会

猿ヶ石川の上下流の中間点にある田瀬湖に貯まっているゴミを、田瀬地域住民や猿ヶ石川流域の市民に呼びかけ、初めてとなる一斉清掃を開催します。このイベントは、田瀬ダム水源地域ビジョン推進協議会が母体となり、関係団体により実行委員会を発足し主催。猿ヶ石川上下流の市民が清掃活動で共に汗を流すことにより、連携と交流を深めながら、水資源の大切さや河川環境への関心を深める機会となることを目的としています。清掃活動後には、ゴミを拾いながら浮かんだ想いを川柳に詠みます。入賞者には協賛団体からの賞品も予定されていますので、いっぱいゴミを拾って、川柳を詠んで、賞品もゲットしてください。



【日時】平成 25 年 4 月 27 日(土)
【時間】午前 9 時～ 12 時 30 分
* 午後に希望者はカヌー無料体験有り
【集合場所】東和B&G海洋センター
【参加費】無料
【持ち物】ゴミ拾いできる服装
【申し込み】田瀬湖一斉清掃&ごみ川柳大会実行委員会事務局
☎ 0198-64-2250(千葉)

Q BOD の他にも COD ってありますが何ですか？

川豆辞典

A 前号で BOD の説明をしましたが、COD とは Chemical Oxygen Demand の略で、日本語では化学的酸素要求量と訳されます。BOD との違いは、COD が有機物と無機物の両方の要求酸素量ですが、BOD は生物分解性有機物のみの酸素要求量となります。COD の値が高いほど有機物量が多く、水質汚濁も大きくなる傾向になります。COD は BOD に比べて短時間で値を求められることから、COD が BOD の代替指標として用いられることがあります。

3/16

春の息吹を感じに来ませんか… 田瀬湖の野鳥観察会

この冬も厳しい寒さが続きましたが、野鳥の世界では、ハクチョウが北帰行に向け隊列を組んで練習？している様子が各地で見られるようになりました。春は確実にそこまで来ているようです。そんな自然の息吹を感じに、観察会に参加してみたいかでしょうか？今回の観察地は、田瀬湖周辺の白土地区。残雪の残る田瀬湖の景色もなかなか美しいですよ。

【日時】平成 25 年 3 月 16 日(土)午前 8 時 30 分～ 12 時
【集合】花巻市東和コミュニティセンター駐車場 または午前 9 時に田瀬振興センター駐車場
【参加費】100円(高校生以下無料)
【持ち物】防寒着、長靴、双眼鏡(ある方)
【申し込み】とうわ野鳥の会 ☎0198-42-4725(斎藤)



田瀬湖釣り公園での観察会の様子。

4/7

みんなでワイワイ楽しく薪づくりをしよう!! 第 5 回遠野・薪づくり倶楽部

木材価格の低迷から、猿ヶ石川流域でも、ほとんどの山林が間伐されない状況で、間伐されたとしても切り捨てられています。間伐材を薪として利用することは、森林整備を進め、エネルギーも確保し、温暖化防止にも貢献できるという多くのメリットがあります。そんな薪づくりを、楽しみながら行うのがこの倶楽部。6 月まで第 1 日曜日に開催中。参加者は、今秋に薪と交換できる薪券がもらえますよ。



【日時】平成 25 年 4 月 7 日(日)午前 9 時～午後 3 時
【集合】遠野市松崎町福泉寺駐車場
【参加費】無料
【持ち物】昼食、飲み物、作業着、斧・チェーンソー(ある方)
【申し込み】遠野エコネット ☎0198-64-2250(千葉)

田瀬ダム水源地域ビジョン推進協議会通信 Vol.2
「猿ヶ石川通信」平成 25 年 3 月号
発行日：平成 25 年 3 月 13 日
発行：田瀬ダム水源地域ビジョン推進協議会
☎ 028-0123 花巻市東和町田瀬 39-1-3
☎ 0198-44-5211
編集：一般社団法人いわて流域ネットワーク
問合せ：☎ & FAX 0198-64-2250 (千葉)
E-mail:pahaya@tonotv.com

この冬は厳しい寒さが続きましたが、そんな中、田瀬湖水上ワカサギ釣り解禁は、10 年ぶりということもあり嬉しいニュースでした。釣り愛好家の中には、早朝の 3 時頃にテントを張る熱烈ファンもあつたとか。本当に多くの方が待ち望んでいたのだと思います。4 月には、田瀬湖では初めてとなる一斉清掃が行われます。猿ヶ石川の上流と下流に暮らす市民が、共に田瀬湖に集い清掃活動をする意義は、とても大きいと思います。みなさんも、田瀬湖に素敵な汗を流しに来ませんか。(千葉)

編集後記